東が丘・立川看護学部看護学科 履修系統図(平成27年度入学生から適用)

教育課程編成・実施の方針

1. 豊かな人間性と確かな看護実践能力を育成するために、「人・人間理解と自然・社会科学」、「健康問題の解決」、「あらゆる状況にある対象への看護実践」及び「看護キャリア開発」に関する

2. 有護の実践能力、自己啓発能力、キャリア開発能力を育成します。 4. 看護倫理、生命倫理の基本的能力を育成します。

5. 他の医療職や他職種と協働し、補完しあえるスキルミックスの基盤能力を育成します。

6. 国際的視野と国際的に活躍できる能力を育成します。

7. 連携する国立病院機構の豊富な臨床現場を活用し、実習等を通して、総合的、自律的判断に基づく看護実践能力を修得し、臨床現場に強い実践者を育成します。

学位授与の方針

白色

… 必修科目

東が丘・立川看護学部看護学科においては、看護・看護学を理解し、21世紀の高度医療に対応できるtomorrow's Nsを目指す上で 必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学位(看護学)を授与します。

緑色

… 選択科目

- 1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践できる能力。
- 2. 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・相互的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力。

- 3. 看護の対象者や医療従事者等との適切なコミュニケーションを取りながら看護を実践できる能力。 4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に係わることができる能力。
- 5. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる能力。

			1年(前期)		1年(後期)		2年(前期)		2年(後期)		3年(前期)		3年(後期)		4年(前期)		4年(後期)		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
		人間	人間関係論	1 }	法学	1													
		尊重	心理学	1															
		と人	哲学	1															
		間関	倫理学	1															
		係の	社会学	1															1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践でき
		形成	文化人類学	1															る能力。
	基礎	の原	論理学 2	2 7	スポーツ科学	2													2. 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識
	分 野	決題	自然科学の基礎	1															──技術を修得し、科学的・相互的な思考・判断に 基づいて自律的に看護を実践できる能力。
		自能己					統計学	2											5. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門
		力啓発					教育学	2											性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる 能力。
		キャ	情報リテラシー	1 3	実用英語Ⅱ	2	実用英語Ⅲ	2											
		リア	実用英語 [2	2			社会保障制度概論	1											
		開発	中国語	1			ボランティア論	1											
医療分野において 高い専門性、豊か		能力	スペイン語	1															
な人間性及び教養		の間重力 形関と間 成係人事	5				医療と法(看護関係法規)	1											
総合的な学修経験 と創造的思考力 知識・理解		健	医学概論	1 }	病理学	2	疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2	疾病と治療 V (感覚器系・統合)	2									2. 看護·看護学の基盤となるヒト·人·人間に 関連した基礎科学及び看護学に関する知識
	専	康問	解剖生理学 [2	2 4	生化学	1	疾病と治療IV(泌尿器系・ 生殖器系・内分泌系)	2	疾病と治療Ⅵ(精神系)	1									技術を修得し、科学的・相互的な思考・判断に 基づいて自律的に看護を実践できる能力。
	門基	題の	解剖生理学Ⅱ 2		薬理学	1	臨床検査学演習	1	臨床栄養学演習	1									3. 看護の対象者や医療従事者等との適切な
	礎 分 野	解決	微生物学	' (疾病と治療 I (呼吸器系・消化器系)	2	人間工学	1	臨床薬理学演習	1						L			コミュニケーションを取りながら看護を実践で 」る能力。
	野	<i>></i>			疾病と治療 Ⅱ (血液系・循環器系)	2			公衆衛生学	2									5. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門
汎用的技能		能啓自力発己					医療・看護情報学の基礎	1								L			□性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる □能力。
		を お お 発 り					保健医療福祉システム論	1	政策医療論	1	実用医療英語	1				<u></u>			
態度·志向性	看:	亩	看護学概論		看護倫理	1	看護過程展開実習		看護理論		急性期看護論		成人看護学実習 I (急性期)	2			看護教育学	1	1. 豊かな知性と人間性に支えられて、
	護技	門	看護学体験実習	1	看護実践技術論 I (治療・処 置における援助技術と判断)	1	慢性期看護論	2	老年看護学実習 I (地域で 暮らす高齢者の看護)	2	成人·老年看護実践論	4	(慢性期)	2					□ 倫理的な意思決定に基づく看護を自律的 □ に実践できる能力。
	術	野	看護実践技術論 I (日常生活 / における援助技術と判断)	2	看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1	老年期看護論	1	母性看護学概論	2	母性看護実践論		成人看護学実習Ⅲ (終末期)	2					┃
	臨	基	ヘルスアセスメント	1 7	フィジカルアセスメント	1	老年看護実践論	1	小児看護学概論	2	小児看護実践論	2	老年看護学実習 Ⅱ (病と生きる高齢者の看護)	2		L			間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・相互的
	床	看		ā	看護過程と看護方法論	1	臨床コミュニケーション論	1	精神看護学概論	1	精神看護実践論	2	母性看護学実習	2					な思考・判断に基づいて自律的に看護を
	践	学		ı	日常生活援助展開実習	1							小児看護学実習	2					□ 実践できる能力。 ■ □
	護学	基		F	成人看護学概論	1							精神看護学実習	2					3. 看護の対象者や医療従事者等との適
) 看地	~		ź	老年看護学概論	1							障害者看護論	1		<u></u>			切なコミュニケーションを取りながら看護 を実践できる能力。
									家族看護学	1	在宅看護学概論	2	在宅看護実践論 I (在宅に おける看護技術と危機管理)	1	在宅看護実践論 II (地域に おけるケアシステムと連携)	1	チーム医療論	1	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃
	護垣マ看	計分							地域看護学概論	1	看護研究の基礎	1	英語論文のクリティーク	1	在宅看護学実習	2	看護職とキャリア形成	1	極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に係わることができる能力。
	ネ語 ジ学	Ž _							自立支援教育論	1	看護管理学	1			卒	業研	T 究	3	
	メ ン トダ ・	宇宅							疾病予防看護学	1	医療安全学	1			看護学統合実習	3	NP論	1	5. 国際的な視野の下で、看護・看護学 の専門性を発揮し地域社会、国際社会に
		、護			`				災害看護学 I	1	災害看護学Ⅱ	2				_	看護政策論	1	L
		学、									国際看護学	1				1			